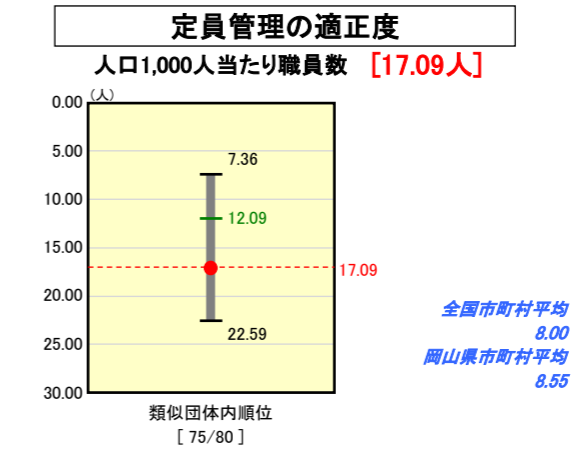
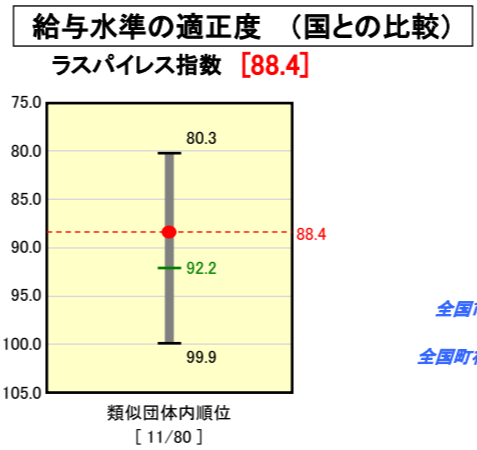
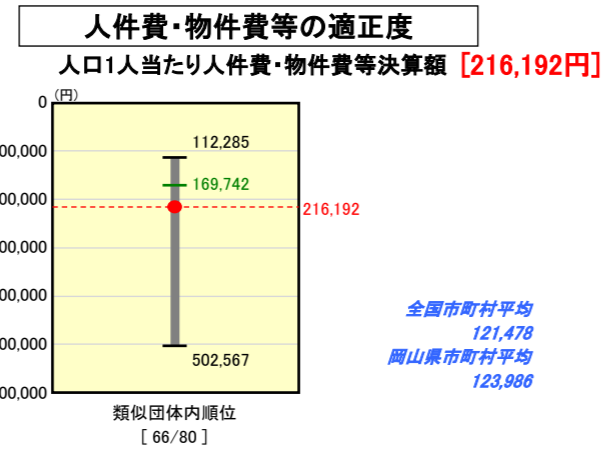
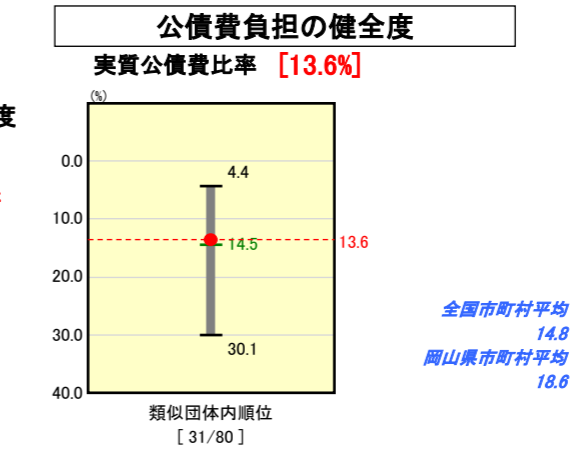
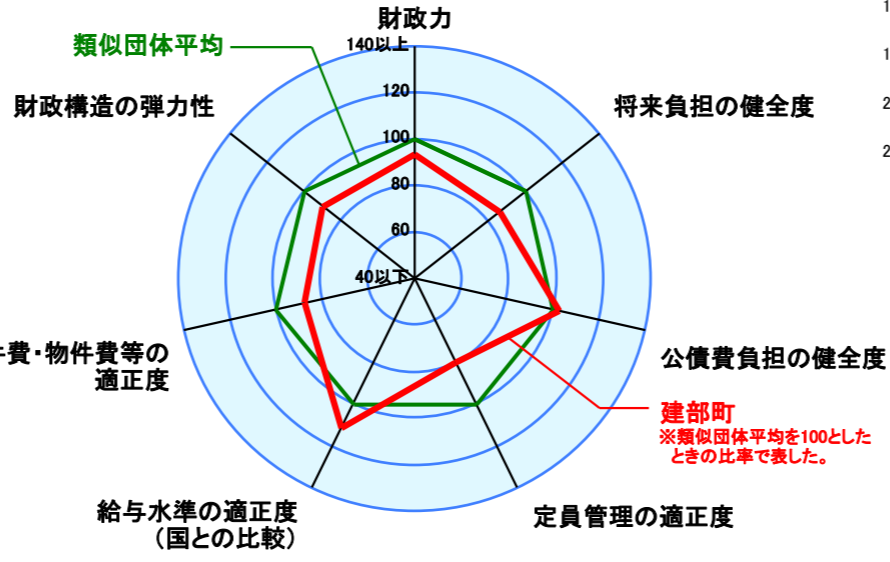
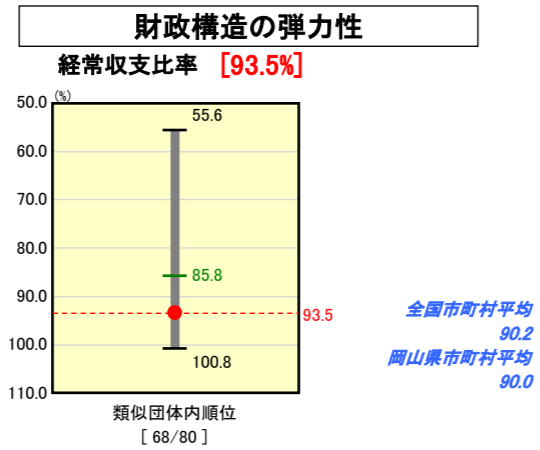
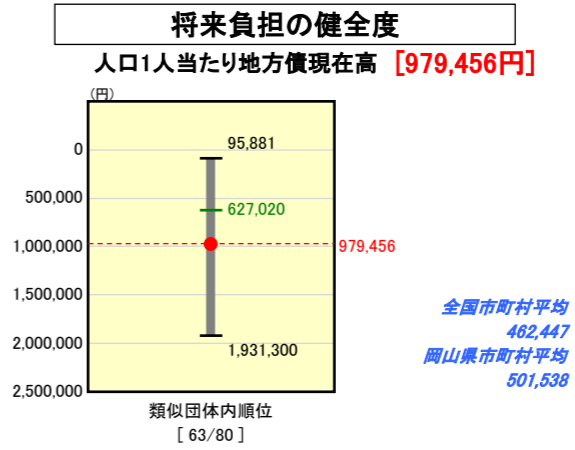
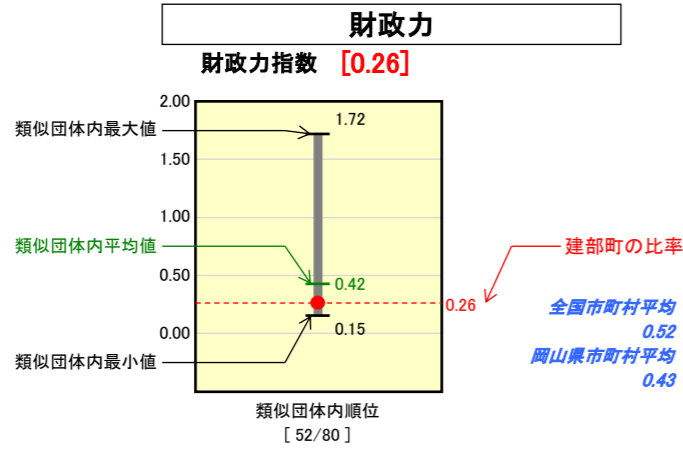


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 建部町

人口	6,789	人(H18.3.31現在)
面積	89.53	km ²
歳入総額	4,905,696	千円
歳出総額	4,826,564	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

※建部町は平成19年1月22日に瀬戸町とともに岡山市と合併

財政力指数：過疎化の進展により、人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成17年度末34.01%)に加えて、町内に大型企業がないこと等により、財政基盤は脆弱で類似団体平均をかなり下回る0.26となっている。

経常収支比率：人件費にかかる経常収支比率が32.8%と高くなっているため、類似団体平均より7.7%高い93.5%となっている。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均より46,450円高い216,192円となっている。これは、過去の大型プロジェクトによる施設建設を進めた結果、施設の維持管理に伴う人件費、物件費及び維持補修費が増大しているためである。

ラスパイルズ指数：平成18年4月に実施した給与構造改革による見直しなど、給与の適正化に努めた結果、類似団体

人口1人当たり地方債現在高：過去の大規模プロジェクトの実施により地方債現在高は大幅に膨らみ、類似団体平均を352,436円と大幅に上回る979,456円となっている。

実質公債費比率：類似団体平均とほぼ同じ13.6%となっている。

人口1,000人当たり職員数：集中改革プランに沿い、退職者不補充を基本に、新規採用については必要最低限に抑えてきたが、類似団体平均より5人多い17.09人となっている。